

クールジャパン関連予算（概要）について



Japan. Cool Japan.

令和2年1月31日(金)

内閣府 知的財産戦略推進事務局

クールジャパン関連予算（令和2年度政府提出予算）

令和2年度クールジャパン関連予算合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 552億円

一般会計（主要事業）

○ 文化資源（文化財等）を活用したインバウンドのための環境整備（観光庁（文化庁））・・・・・・・・ 98億円

日本博を契機とした観光コンテンツの拡充、先端技術を駆使した日本文化の魅力発信、文化財の先進的・高次元な多言語解説の整備等を実施。

○ 農林水産物・食品の政府一体となった輸出力強化のうち、海外需要創出等支援対策事業（農水省）・・・・・・・・ 28億円

日本産農林水産物・食品のトップセールス、日本食・食文化の普及を担う料理人等の育成等を支援。

○ 対日理解促進交流プログラム（外務省）・・・・・・・・ 18億円

対外発信力を有する人材を招へい・派遣し、我が国の政治、経済、文化、歴史等に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘。

○ 地域文化財総合活用推進事業（地域文化遺産）（文化庁）・・・・ 11億円

地域の文化財の総合的な活用を推進するため、伝統行事・伝統芸能の公開・後継者育成等、地域の文化遺産を活用した特色ある総合的な取り組みを支援。

特別会計（財投特会）

○ （株）海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）による出資（経産省）・・・・・・・・ 230億円

魅力ある商品やサービス等の海外における需要開拓等の事業活動に対し、リスクマネー供給等の支援を実施。

一般会計（主要事業）

※ 上記以外に、金額は明示されていないが、クールジャパン関連の施策を含むもの。（主要事業）

○ （独）日本貿易振興機構運営費交付金（経産省）・・・・ 254億円の内数

食品の輸出促進、企業の海外展開促進等のため、海外市場調査、プロモーション、海外見本市への出展支援、商談会の開催等を実施。

○ 訪日プロモーション関連事業（観光庁）・・・・・・・・ 150億円の内数

グローバルメディアを活用した地域の魅力発信や、国別戦略に基づくプロモーションにより、更なる誘客を促進。

○ 「ジャパン・ハウス」事業の実施（外務省）・・・・・・・・ 38億円の内数

ロンドン、ロサンゼルス、サンパウロの3都市で「オールジャパン」の発信拠点であるジャパン・ハウスを運営。

特別会計（特許特会）

○ 海外知的財産プロデューサー（特許庁）・・・・・・・・ 122億円の内数

企業での海外駐在経験と知財マネジメント経験を有する専門家（海外知的財産プロデューサー）が、海外ビジネスにおける知的財産リスクの低減や知的財産の活用等の観点から支援。

○ 農山漁村振興交付金のうち「農泊」の推進（農水省）・・・・・・・・ 50億円

地域資源を観光コンテンツとして磨き上げる取組や、古民家等を活用した滞在施設等の整備等ソフト・ハードの取組を支援。

○ 博物館文化拠点機能強化プラン（文化庁）・・・・・・・・ 20億円

博物館の文化資源を活かした地域のまちづくり・観光施策と併せた事業展開、学芸員等の人材育成、I COM京都2019大会を契機とした博物館機能強化に資する取組への支援。

○ 地域未来投資促進事業費のうち、地域企業イノベーション促進事業（経産省）・・・・・・・・ 12億円

地域経済の担い手となる企業群の新事業への挑戦を促すため、地域の支援機関からなる支援ネットワークを構築するとともに、新事業に取り組む地域企業群に対して販路開拓などを総合的に支援。

○ 国立公園満喫プロジェクト等推進事業（環境省）・・・・ 172億円の内数

国立公園毎に立ち上げた地域協議会で策定したステップアッププログラムに基づく各種取組等を実施。

※国際観光旅客税財源充当事業を含む

○ 国際交流基金事業（外務省）・・・・・・・・ 127億円の内数

世界の全地域において総合的に国際文化交流事業を実施。

○ 日本産酒類の競争力強化・海外展開推進事業（国研庁）・13億円の内数

日本産酒類の競争力強化や海外展開を推進するため、日本産酒類の情報発信、輸出環境整備や技術支援等を実施。

クールジャパン関連予算（令和元年度補正予算）

令和元年度補正クールジャパン関連予算合計・・・・・・・・・・ 100億円

一般会計（主要事業）

○ コンテンツグローバル需要創出促進・基盤整備事業（経産省）・・・・・・・・・・ 31億円

日本ブームの創出にも寄与するコンテンツの海外展開について、ローカライズやプロモーション、クリエイターの資金調達・育成に資するピッチ映像の制作等、デジタル技術活用した先進性の高いコンテンツ等の開発等を支援。

○ 高品質な我が国農林水産物の輸出等需要フロンティアの開拓のうち、海外需要創出等支援緊急対策事業（農水省）・・・・・・・・ 24億円

TPP、日EU・EPA、日米貿易交渉を通じて得られた関税撤廃等のチャンスを最大限活かすとともに、影響が懸念される品目についての体質強化を図るため、日本産農林水産物・食品の輸出の戦略的プロモーション・商談サポートの強化、早期に成果が見込まれる重点分野・テーマ別の海外販路開拓の強化を支援。

○ 放送コンテンツ海外展開強化事業（総務省）・・・・・・・・・・ 15億円

ローカル放送局等と、自治体、地場産業、観光業等の関係者が幅広く協力し、訪日外国人観光客の増加や地場産品等の販路拡大を通じ、地域活性化等に資する放送コンテンツを海外と共同制作・発信する取組及びこれと連動するプロジェクトを一体的に展開する取組を支援。

○ 国際交流基金放送コンテンツ海外展開支援事業（外務省）・・・・・・・・・・ 5億円

国際交流基金を通じ、日本文化紹介の観点から、アニメーション、ドラマを含むテレビ番組を提供。

○ インバウンド需要拡大推進事業（経産省）・・・・・・・・・・ 5億円

個々の商材・サービスをまとめて提供する事業者と外国人専門家（海外需要を把握するバイヤー、付加価値を高められるクリエイティブ・ディレクター、国外関係者消費者目線を有するインフルエンサー等）とのマッチングの支援、商品・サービスの磨き上げ・プロモーション等を支援。

※ 上記以外に、金額は明示されていないが、クールジャパン関連の施策を含むもの。（主要事業）

○ 国立公園満喫プロジェクト等推進事業（環境省）・・・・・・・・・・ 67億円の内数

国立公園地域協議会で策定したステップアッププログラムに基づく各種取組等を実施。
（補正予算案関係）国立公園における受け入れ環境整備の早期実施。

【参考】クールジャパン関連予算（平成31年度政府提出予算）

平成31年度クールジャパン関連予算合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 459億円（444億円）

（※括弧内の数字は、平成30年度クールジャパン関連予算調べ時の予算額）

一般会計（主要事業）

○ 文化資源（文化財等）を活用したインバウンドのための環境整備

（観光庁（文化庁））・・・・・・・・ 100億円

日本博を契機とした観光コンテンツの拡充、先端技術を駆使した日本文化の魅力発信、文化財の先進的・高次元な多言語解説の整備等を実施。

○ 農山漁村振興交付金のうち農泊推進対策（農水省）・・・・・・・・ 53億円

地域資源を観光コンテンツとして磨き上げる取組や、古民家等を活用した滞在施設等の整備等ソフト・ハードの取組を支援。

○ 海外需要創出等支援対策事業（農水省）・・・・・・・・ 34億円

日本産農林水産物・食品のトップセールス、日本食・食文化の普及を担う料理人等の育成等を支援。

○ 対日理解促進交流プログラム（外務省）・・・・・・・・ 24億円

対外発信力を有する人材を招へい・派遣し、我が国の政治、経済、文化、歴史等に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘。

○ 伝統的工芸品産業振興補助金（経産省）・・・・・・・・ 7億円

伝統的工芸品について、（一財）伝統的工芸品産業振興協会が実施する国内外のバイヤーや消費者等とのネットワーク構築、海外への情報発信による新規需要開拓を支援。

○ 新コンテンツ創造環境整備事業（経産省）・・・・・・・・ 5億円

日本のコンテンツの発信力強化、ビジネスマッチング等による新たなコンテンツ市場の開拓等を促進し、日本のコンテンツ産業の市場規模拡大を図る。

○ メディア芸術グローバル展開事業（文化庁）・・・・・・・・ 4億円

メディア芸術部門の優れた作品の顕彰や、海外のメディア芸術関連のフェスティバル等における展示・上映等を実施。

○ 放送コンテンツ海外展開強化事業（総務省）・・・・・・・・ 2億円

放送事業者等と、他分野・他産業、地方公共団体等の関係者が協力し、放送コンテンツを制作、海外発信等する取組等を支援。

※ 上記以外に、金額は明示されていないが、クールジャパン関連の施策を含むもの。

○ (独)日本貿易振興機構運営費交付金（経産省）・・ 250億円の内数

食品の輸出促進、企業の海外展開促進等のため、海外市場調査、プロモーション、海外見本市への出展支援、商談会の開催等を実施。

○ 国立公園満喫プロジェクト等推進事業（環境省）・・ 163億円の内数

国立公園毎に立ち上げた地域協議会で策定したステップアッププログラムに基づく各種取組等を実施。

※国際観光旅客税財源充当事業を含む

○ 訪日プロモーション関連事業（観光庁）・・ 152億円の内数

グローバルメディアを活用した地域の魅力発信や、国別戦略に基づくプロモーションにより、更なる誘客を促進。

○ 国際交流基金事業（外務省）・・・・・・・・ 133億円の内数

世界の全地域において総合的に国際文化交流事業を実施。

○ 「ジャパン・ハウス」事業の実施（外務省）・・ 36億円の内数

ロンドン、ロサンゼルス、サンパウロの3都市で「オールジャパン」の発信拠点であるジャパン・ハウスを運営。

○ 地域観光資源の多言語解説整備支援事業（観光庁）・10億円の内数

文化財や国立公園等について、専門人材を派遣し、魅力的な多言語解説文の作成を支援、そのノウハウを蓄積・横展開できるガイドラインを作成。

特別会計（財投特会）

○ (株)海外需要開拓支援機構（クールジャパン機構）による出資（経産省）・・・・・・・・ 170億円

魅力ある商品やサービス等の海外における需要開拓等の事業活動に対し、リスクマネー供給等の支援を実施。

【参考】クールジャパン関連予算（平成30年度第2次補正予算）

平成30年度第2次補正クールジャパン関連予算合計・・・・・・・・・・ 86億円（98億円）

（※括弧内の数字は、平成29年度補正クールジャパン関連予算調べ時の予算額）

一般会計

○ コンテンツグローバル需要創出等促進事業（経産省）・・・・・・・・・・ 30億円

増大するコンテンツの海外需要の獲得を促進するために、①コンテンツの海外展開におけるローカライズ・プロモーション、②海外向けコンテンツ製作に資する資金調達手法③デジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツ等の開発等の支援を実施。

○ 国際交流基金事業（新たな外国人材受入に向けた海外日本語教育）（外務省）・・・・・・・・・・ 24億円

海外における日本語の普及を始めとする施策を実施。

○ 放送コンテンツの海外展開による我が国産業の国際競争力強化及び地域経済活性化支援事業（総務省）・・・・・・・・・・ 15億円

放送事業者等と、他分野・他産業、地方公共団体等の関係者が協力し、放送コンテンツを制作、海外発信等する取組等を支援。

○ 国際交流基金放送コンテンツ海外展開支援事業（外務省）・・・・・・・・・・ 15億円

国際交流基金を通じ、日本文化紹介の観点から、アニメーション、ドラマを含むテレビ番組を提供。

○ オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査（オリパラ事務局）・・・・・・・・・・ 2.5億円

ホストタウン未登録国・地域の早期解消を目指し、自治体関係者が未登録国・地域を訪問して関係者等と面会し、ホストタウン交流の相互理解を促進するとともに、選手等の関係者を招へいし、住民との交流を行うことで、早期にホストタウンへの登録を促す。

※ 上記以外に、金額は明示されていないが、クールジャパン関連の施策を含むもの。

○ 海外の需要拡大・商流構築に向けた取組の強化（農水省）・・・・・・・・・・ 57億円の内数

JFOODOによるプロモーション、JETROによる海外見本市への出展支援等や早期に成果が見込める分野・テーマ別の販売促進活動等を支援、訪日外国人に対する食の魅力発信及び国・地域別戦略的マーケティング（海外メディアを活用したプロモーション）を実施。